PTT Memoranda
— 第 255 回記念 PTT (Appendix) —

山内斉

1999 年 12 月 21 日 (火)

概 要

PTT は今回で 255 回目である．これまでに行なわれた PTT の記録については完全ではないが Web 上[1]にまとめられている．今回の発表ではその記録を概観してみる．

1 PTT 開催リストから

PTT は今回で 255 回目である．これまでの PTT メモからいくつかの統計情報を抽出し，紹介してみようと思う．

はまずは発表者について発表回数の多い順に並べたものを表 1 に示す．ただし，元のデータには名字しか掲載されていない場合があるため，異なる発表者でも同性の方の場合にはカウントされていることがある．

表 1: 発表回数

発表回数	発表者名
11	角田
9	多田, 前野
7	筧, 木村, 久野
6	武市, 大駒
5	太田, 松田
4	鈴木, 落水, 白浜, 竹内, 佐藤
3	和田, 田中, 天海, 中島, 大野, 村井, 倉部, 石井, 小川, 寺田, 高木, 井上
2	落合, 木村友則, 飯島, 藤村, 中村, 中川正樹, 中山, 大木, 斉藤, 西村, 森田, 上田, 小谷, 酒井, 鹿野, 紫合, 佐渡, 戸村, 丸山, 伊知地, 阿部

---

[1] http://www.sowa.is.uec.ac.jp/˜yamauchi/projects/ptt/

次に開催された場所についてを表2に示す．開催場所が不明なものは第138回である．

表 2: 開催場所

開催回数	場所
50	東工大
38	東大
34	慶大
33	電通大
26	農工大
18	早大
7	立大, 富士ゼロックス
5	通研, 津田塾, 筑波大
4	日立, 静大
2	富士通, 日電, 電総研, 九大
1	日本IBM, 南山大, 山梨大, 国立がんセンター, 群馬大, お茶の水大, SRA, NTT, ICOT, (不明)

次は題目を分類し，時代と共にどのような発表がなされたかを図1にまとめてみた．この分類は山内の独断である．分類の項目は以下の通りである．

- 処理系の移植について (Translation)
- 言語そのものについて (Language)
- エディタ (Editor)
- 会議などの報告 (Report)
- コンパイラ (Compiler)
- テキスト処理 (Text)
- 日本語処理 ·日本語入力 ·日本語に特化したテキスト処理 (JText)
- プログラミング (Programming)
- 日本語プログラミング (JProgramming)
- 自然言語処理 (Natural Language)
- 教育 (Education)
- Tool (Tool)
- System (System)
- Operating System (OS)
- 計算モデル (Model)

- User Interface (User Interface)
- 計算機アーキテクチャ (Architecture)
- Network (Network)
- 特定の問題 (認識，ゲーム) (Special Problem)
- その他 (Other)
- 不明 (Unknown)

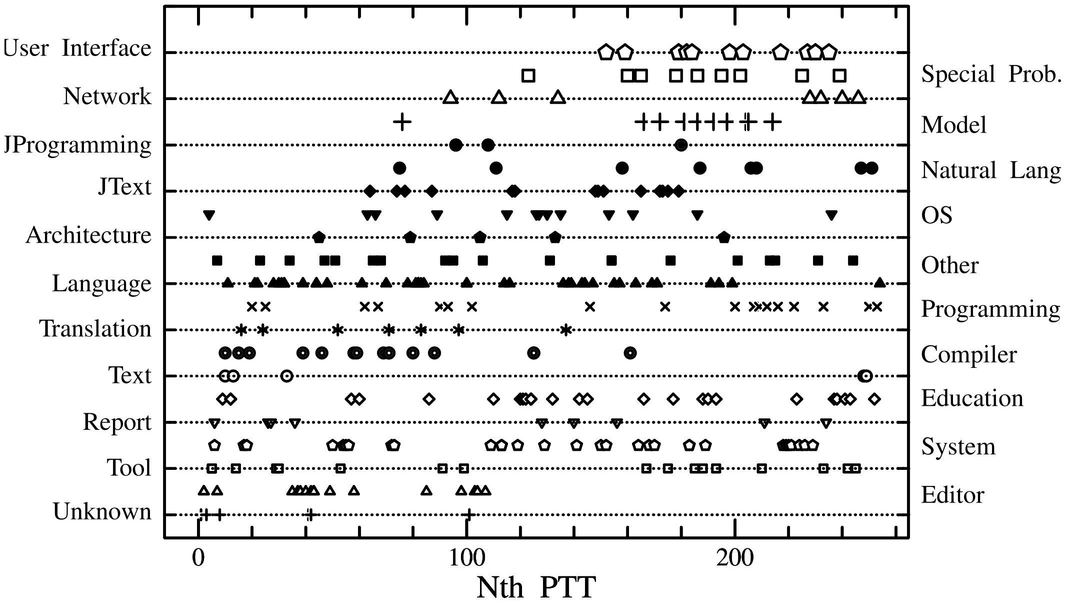

図 1: PTT の題目の変遷

言語とコンパイラ，System や移植など，分類が難しいものもあったが，ここは自分の感じで決定した．また，一回で 2 つ以上のテーマについて話があることもあったため，テーマの数は 254 を越えている．

これを見ると，初期の頃にはエディタの話題やコンパイラの話題などがみられる．特にエディタは 1990 年に入るとぱたりとなくなってしまった．コンパイラも初期の頃しかみられないが，言語については最近でも発表が見られる．言語と同時に語られるのかもしれない．また，筆者の専門に近い並列コンパイラは現在も大きな問題である．

システムや Tool といったものはある種範囲が広いので，常に話題になるものであろうから，この結果はさほど珍しくないだろう．

教育に関してはある間隔で語られている．最近の内容は計算機センターについてや，言語教育についてなどの話題があった．このテーマは時代と共に常に語られるものであろう．プログラミング

や言語に関してもある間隔で話題があるが，日本語プログラミングなどは 255 回の中では中期にのみ語られていた，最近はおそらく日本語の文字認識や自然言語処理の分野へと発展していったものと思われる．また，ネットワーク，ユーザインターフェース，特定の問題 (ニューラルネットワークによる何々の解法など) に関しては最近の話題となっている．

2 PTT メモより

5 回以上出席した方々の統計を上位から表 3 に示す．しかし，手元にある資料では，PTT メモの初出が第 123 回であり，出席者が記録されているものはごく最近の 139 回以降に限定されている．また発表者は含めておらず，139 回以降であっても出席者の記録のない回も多い．したがって，比較的最近の出席者についての情報となっている．その部分を考慮してこの表を御覧になって頂きたい．

表 3: PTT 出席状況

順位	出席回数	名前
1	65	伊知地宏
2	56	田中哲朗, 岩崎英哉
4	54	石畑清
5	49	和田英一
6	48	多田好克
7	47	寺田実
8	38	並木美太郎
9	35	下國治
10	32	佐口泰之
11	32	佐々木崇郎
12	31	立山義祐
13	21	倉部淳
14	20	早川栄一
15	18	角田博保
16	17	中村嘉志
17	16	山内斉
18	15	前田敦司, 小川宏高
20	14	中山泰一, 丸山一貴
22	13	馬上博樹, 森山茂男
24	12	鈴木貢, 尾上能之
26	11	齊藤正伸, 木下毅
28	10	田中淳裕, 小川貴英, 小出洋
31	9	鈴木悦子, 武内和昭, 飯島正, 赤池英夫
35	8	小口和弘, 金東虎, 永松礼夫
38	7	粕川正充, 大野浩之, 大駒誠一, 石井裕一郎, 神南吉宏, 久保田光一
44	6	田中久美子, 長橋賢児, 前野年紀, 川平吉樹, 清水剛, 海田美香
50	5	筧捷彦, 落合大, 尾河裕, 中川正樹, 大島芳樹, 清水和久, 山田雄一郎
		佐藤元信, 河合泰彦, 益田典明, 稲田太

3 おわりに

この PTT Memoranda をまとめてみようとしたきっかけは，254 回の PTT の親睦会に参加した一人が「誰が一番 PTT に出席しているのだろうか」と一言もらしたことに端を発っしている．その時の評では和田先生だろうという読みであったが，139 回以降の記録に残っている限りでは伊知地氏の出席率が一位であった．

このまとめにあたって，全ての PTT メモにタグをつけ，形式を整えなおす作業を行なったが，これがなかなかの難物であった．そのわりには，出席者の情報しか取り出さなかったのは残念である．

たとえば，メモを拝見していて歴史的な部分をまとめられればと思ったが，メモからわかることは少なかった．個人的にメモの内容について興味が湧いたものは以下のようなものである．

- 第 152 回：153 回のお知らせに前回は非常にもりあがったという記載あり．
  PTT のお知らせの冒頭の抜粋「5 月の PTT は，東京大学 (本郷) でおこないます．先月は，大正大蔵経で盛り上がりましたが，今回はどうでしょうか．」
- 第 159 回：PTT 巡業開始：第 1 回目の巡業の様子は?
- 第 164 回：概要「研究会などでは話さない (話せない) ような趣味的なプログラミングの話．」とは?
- 第 189 回：寺田氏の質問に対して，石井氏があたかも質問を予測したように OHP を出したために談合があったのではないかとされた事件．

最後にこれまで発表者のリストを付録とする．私は自分の専門とは多少違った分野の方々と自由に話ができたこの PTT に触発された部分があることを感じ，感謝している．

4 付録：255回までのPTT発表リスト

回	発表者	所属	題目
1	筧	立大	CDLの話(1976年4月)
2	角田	東工大	Text Editorに関する2,3の話題
2	辻	東工大	Text Editorに関する2,3の話題
3	大駒	慶大	SDSについて
4	武市	東大	SOLOについて
5	高木	東工大	software toolsについて
5	森	東工大	software toolsについて
5	木村	東工大	software toolsについて
6	前野	立大	立教大学の盲人用システム
6	筧	立大	IFIP WG 2.4から帰って
7	阿部	静大	テキストエディタの作成経験について
7	石田	東大	帰朝談ホビーとしてのマイクロコン
8	徳田	慶大	Euclid reportについて
9	飯島	電通大	コンパイラ作成技法の教育方式とその経験
10	河井	東大	意味的制限を持った文法
10	木村	東工大	文章の右端揃えの方法について
11	紫合	日電	プログラミング言語システムSPOT6について
12	石井	立大	学生実習用システムについて
12	前野	立大	プログラム書法実習
13	落水	静大	リーダビリティ・チェッカー、アナライザによるプログラム文書化
14	内田	富士通	ソフトウェア開発支援システムSDD
15	原田	慶大	SIMPLE Optimizing Compiler
16	白浜	東工大	SNOBOL4の移植
17	戸村	東大	マイクロPLANの開発
18	石井	立大	システム#20D
19	有沢	山梨大	プリ・プロセッサの話
20	米沢	東工大	プログラムの仕様技法について
21	中島	東大	PROLOGについて
22	紫合	日電	FORTRANによる並列処理
23	小谷	農工大	日本語情報処理の研究計画について
24	角田	東工大	べたづめSNOBOL3の移植
25	椎野	日本	IBM Programming Support System
26	木村	東工大	カーネギー・メロン大学で考えたこと
27	川井	東大	ケンブリッジ大学で考えたこと
28	安村	日立	Ironmanの言語仕様について
29	和田	東大	名前おきかえプログラム
30	角田	東工大	FCOMP(ファイルの比較プログラム)
30	佐渡	東工大	FACOM 230/45SのCLUについて
31	戸村	東大	COSのコマンド言語について
32	伊東	慶大	Portable Basicについて
32	野崎	慶大	Portable Basicについて
33	落水	静大	プログラム文書自動化ツール
34	木村	東工大	計算機入力の人間学
35	白浜	東工大	ソフトウェアモニタ用のエディタ
36	和田	東大	IFIP/TC2/WG2.1とISO/TC97/SC2で考えたこと
37	筧	立大	マイコンをつないでエディタを作った話
38	小谷	農工大	HITAC-10のファイルシステムとコマンドなしエディタについて
39	相場	慶大	ラムダ計算のシミュレータ
39	大和	慶大	PDP-11の実習用アセンブラ
40	前野	東工大	ディスプレイ版のミニエディタ
41	岡本	東大	Plan Interactive System
41	松井	東大	Plan Interactive System
42	角田	東工大	エディタ論
42	太田	静大	T-netのミニホストによる実現の一方式
42	落水	静大	T-netのミニホストによる実現の一方式

43	上田	東大	TECO の作成と使用経験
43	白浜	東工大	エディタ夢物語
44	近山	東大	HLISP を会話的に使うには
44	中島	東大	HLISP を会話的に使うには
45	竹内	通研	ハードをソフトでかたがわり
46	鹿野	慶大	SIMPLE コンパイラにおける機械語レベルの最適化とモジュール間の最適化について
47	木村	東工大	人と機械の協力関係について
48	瀬川	早大	算譜言語 Simplon とその rational
49	中西	慶大	APPLE-II LISP とそのエディタ
50	木村	東大	医療診断システムについて
51	木村	東工大	日本語技術文書著作支援の経験と将来構想
52	高木	日立	移植の苦労話
53	大駒	慶大	自前の Utility の紹介
54	前野	東工大	IBM 流 TSS の裏側
55	小川	津田塾大	VAX-11 の裏側
56	筧	立大	OS1100 の裏側
57	井上	農工大	教育用 EDSAC ハードウェアシュミレータの試作および試用
58	三島	慶大	リストをきれいにするエディタ
58	鹿野	慶大	ブートストラップによるコンパイラ移植の内と外
59	白浜	東工大	Runtime Support for Pascal in Pascal
60	藤村	九大	九州大学情報処理教育センターの紹介
61	角田	東工大	新高速 SNOBOL3 処理系について
62	二村	日立	問題分析法 PAM によるプログラムの設計と審査
63	栗原	SRA	UNIX によるたこ部屋環境の構築
64	遠城	東工大	マクロ方式カナ漢字変換システムをすごくよくした話
64	久野	東工大	マクロ方式カナ漢字変換システムをすごくよくした話
65	内野	東大	マイクロマウスの試作
66	高木	日立	タコ部屋でない UNIX のお話
67	酒井	静大	プログラム設計用図式
67	落水	静大	プログラム設計用図式
68	大野	慶大	ラスターグラフィックスにおけるリアリズムの追及とその手法
69	前野	東工大	Pascal - T コード生成の評価
70	大木	筑波大	Interlisp, Utahlisp ...
71	天海	電通大	Pascal コンパイラの移植
71	武市	電通大	Pascal コンパイラの移植
71	武市	東大	コンパイラ実現方法の比較
71	本間	電通大	Pascal コンパイラの移植
71	木村友則	東大	コンパイラ実現方法の比較
72	井上	農工大	Interactive System XS-1 について
73	遠山	慶大	WANG VS80 の使い勝手
73	大駒	慶大	WANG VS80 の使い勝手
74	西野	富士通	機械翻訳システム ATLAS/U について
75	丸山	東工大	PROLOG による自然言語理解システム
76	大田	東工大	Information Getting に基づく計算モデル
77	角田	電通大	漢字処理システムの利用者界面
78	竹内	通研	LISP マシンのマイクロプログラミングテクニック集
79	多田	東大	SUN ワークステーションのアーキテクチャ
80	松田	東工大	部分計算によってインタプリタからコンパイラは作成可能か
81	浅川	東工大	Prolog プログラムのモジュール化
82	山畑	電通大	Modula-2 処理系について
82	斉藤	電通大	Modula-2 処理系について
82	千曳	電通大	Modula-2 処理系について
82	天海	電通大	UEC Pascal その後、デバッグ風景
82	鈴木	電通大	Modula-2 処理系について
83	中条	電通大	関数型言語 ML の移植について
83	武市	電通大	関数型言語 ML について
84	吉田	電通大	対象主導型言語 fumi について
85	奥乃	通研	画面エディタ Emacs のユーザ特性について
86	藤村	九大	九州大学情報処理教育センターで苦労した話

87	水木	慶大	字体および字の大きさ可変の漢字出力について
88	松田	東工大	属性文法を利用した Actor 言語から Lisp への変換系開発の裏話
89	多田	東大	Unix 移植の裏話
90	久野	東工大	データ抽象言語向きの構造化設計法
91	宮本	電通大	書式指定の可能な Pascal Pretty Printer
92	高橋	農工大	日本商工会議所ワープロ検定制度について
93	山本喜一	慶大	Dimentional flowchart によるプログラム作成について
94	村井	東工大	JUNET -計算機研究者用広域ネットワーク
95	斉藤	東大	ラスター ・グラフィックスにおける曲線の描き方
96	岩井	電通大	日本語 WEB システムについて
96	武田	電通大	日本語 WEB システムについて
96	野村	電通大	日本語 WEB システムについて
97	天海	電通大	Unix の移植について Unix System V → Melcom 70/250
98	小川	津田塾大	日本語エディタ (SSEJ) の設計の話
99	前野	東工大	ファイルをうまく使うには—grep の話もあります—
100	村尾	東大	大型機上の C の実行環境
100	木村友則	東大	大型機上の C の実行環境
101	島内	立大	SPE の話
102	上田	ICOT	並列論理型プログラミングの周辺
103	角田	電通大	多層テキスト構造を持つ日本語エディタについて
104	田子	農工大	楽譜編集系
105	久野	東工大	CLU マシーン ・プロジェクトの全貌
105	荒井	東工大	CLU マシーン ・プロジェクトの全貌
105	佐藤	東工大	CLU マシーン ・プロジェクトの全貌
105	中村	東工大	CLU マシーン ・プロジェクトの全貌
105	鈴木	東工大	CLU マシーン ・プロジェクトの全貌
106	金子	東大	Macintosh のリソース
107	暦本	東工大	構造エディタの逆襲
108	引地	電通大	プログラム作成支援システム:日本語 WEB
108	空田	電通大	プログラム作成支援システム:日本語 WEB
108	渋谷	電通大	プログラム作成支援システム:日本語 WEB
109	多田	電通大	fork を使わない並行プロセスのお話
110	西村	農工大	情報処理センタの立上げの内情
111	大駒	慶大	計算機を使って日独辞書を作る試み
112	村井	東工大	東工大のネットワーク環境ならびに最近の USA のネットワーク事情
113	岩崎	東大	X Window の概念と構造
113	寺田	東大	X Window の概念と構造
113	多田	電通大	X Window の概念と構造
114	武市	電通大	関数プログラミングの実例と移植性の高い処理系の実現法について
115	佐渡	群馬大	富士通の UNIX UTS について
116	久野	東工大	強い型づけと多重継承を持つ言語 Misty の最近事情
117	秋山	通研	文書のレイアウト構造の認識について
118	田原	電通大	各種日本文入力方式の実験による評価
119	佐藤豊	筑波大	プログラミングシステム COSMOS
120	久野	東工大	最近の東工大情報科学科の計算機事情 – Sun3、X Window、NFS –
121	武市	東大	東大教育用計算機センターのシステム – UTS (System V) の性能–
122	筧	早大	情科センター (情報科学教育研究センター) のシステム
123	山崎	農工大	共通楽譜データ
124	稲垣	電通大	各種キーボートのトレーニングソフト
124	江坂	電通大	各種キーボートのトレーニングソフト
124	渡辺	電通大	各種キーボートのトレーニングソフト
125	今井	慶大	パソコンでもできる移植可能な実習用アセンブラ
125	大駒	慶大	パソコンでもできる移植可能な実習用アセンブラ
126	久野	東工大	流れて行かない Unix その後
127	石畑	東大	日立の M シリーズ用 Unix:HI-UX/M について
128	武舎	東工大	CMU で考えたこと
129	竹内	通研	TAO/ELIS 開発秘話
130	角田	電通大	流れて行かない UNIX 環境
131	多田	慶應大	Bell 研リファレンスマニュアル (9th Edition)

132	太田	東工大	太陽がいっぱい
133	小池	東大	並列記号処理マシン PIE64(の模型)
134	本多	早稲田	早稲田大学理工学部におけるアポロドメインネットワーク
135	岡野	農工大	多重 OS 江戸
136	佐藤	電通大	遅延評価系の高速化について
137	根岸	東工大	CLU マシンシステムの移植
137	二瓶	東工大	CLU マシンシステムの移植
138	柴山・一杉	(不明?)	並列オブジェクト指向言語 ABCL/1
139	伊庭	東大	数式処理を用いた幾何学的推論システム
140	竹岡	早稲田	京都の計算機屋さんの内実、その他
141	多田・寺田	農工大	ウィンドウシステム NeWS の骨組とからくり
142	青柳・角田	電通大	太陽がいっぱい
143	飯島	慶應大	メタ freeze 機構を持つ prolog について
144	松田	東工大	Delegation をもとにしたオブジェクト指向言語 OOI の試作
145	田中・金沢	東大	東京大学教育用計算機センタの電子掲示板
146	落合	早稲田	Yet Another Programming Environment: VUE
147	申	東大	並列関数型言語 pf1 の実現
148	寺田	電通大	かな漢字変換フロントエンドを作る
149	大野	慶大	コンピュータによる文字フォントの表現について
150	太田	東工大	/tmp file system の高速化
151	鈴木	農工大	文書作成システム「浄書」
152	安江	早大	並列処理システム- 晴- におけるデータフロープログラム開発環境と視覚的インターフェース
152	名取	早大	Ｘウィンドウ上の漢字認識システム
153	中山	東大	並列型ＯＳの構成方式
154	角田	電通大	実作業におけるユーザの振舞いに対する打鍵レベルでの分析と考察
154	赤池	電通大	実作業におけるユーザの振舞いに対する打鍵レベルでの分析と考察
154	粕川	東工大	実作業におけるユーザの振舞いに対する打鍵レベルでの分析と考察
155	中内	慶應大	AI アプリケーションの並列化とオブジェクト指向言語 EAGLE
156	木村研	東工大	CLU project 1988-1990
157	森田	農工大	言語 C の CAI システムの設計とプログラム実行環境の開発
158	土橋	早大	自然な記述による日本語を解する翻訳系の構成 —自然言語解析作業軽減の一提案—
159	倉部	ゼロックス	グラフィカルユーザインタフェース開発ツール Preface
160	新田	東大	旋律の分析を利用した自動編曲
161	堤	慶大	属性継承文法 (Attribute-Inheriting Grammar) とその応用
162	武内	電通大	日の目を見ることのなかった 80286 の保護機能を使用してみました
163	松田	東工大	ミ- ハ- 言語講座 (その 1) Scheme について
164	竹内	NTT	新しい Lisp マシン SILENT と新しい TAO —究極のマイクロプログラミングを目指して
165	曽谷	農工大	日本語プログラミング:哲学，環境の方式設計，実践とその評価に向けて
165	飯田	農工大	ゲーム木探索の効率化について
166	栗野	早大	帰納的に定義された自然数列の計算の超並列化
166	落合	早大	早稲田大学のネットワーク — とくに数学科ネットの現状と問題点 (仮題)
167	舘村	東大	並列論理型言語 Fleng のマルチウインドウデバッガ HyperDEBU
168	多田	電通大	1. fork を使わない並行プロセスのお話 Part 2, 2. ECB1000YR プロジェクトの概要
169	岡村	慶大	Portable ConcurrentSmalltalk の設計と実装
170	森田	ゼロックス	ip2ps: PostScript による Interpress のエミュレーション
171	松田	東工大	ミ- ハ言語講座 第 2 弾 – Lazy ML –
172	幸島	農工大	認知地図のコンピュータモデル
172	中川	農工大	ほとんど道楽の日本語プログラミングの可読性の実験その後
172	福島	農工大	オンライン手書き図形筆跡データベースの作成と応用
173	山下	早大	日本語ソフトウェア開発環境の一研究— 仮名漢字逆変換システムの構築とその応用 —
174	木下	電総研	依存型とモジュールについて
175	山本	電通大	NMU を InterViews で作ろうとしている話
175	畠山	電通大	NEmacs における，漢字の読み情報をもった日本語モードの製作
176	川杉	慶大	マルチエージェントモデルに基づく移動ロボット利用のためのインタフェース
177	鈴木	津田塾	よりましな計算機実習のために
178	佐瀬	東工大	ニューラルネットの自己増殖と遺伝的生成

179	佐藤	農工大	手書きインタフェースにおける領域決定アルゴリズム
179	酒井	農工大	最尤候補選択アルゴリズムを用いた仮名漢字変換システム
179	待井	農工大	オンライン手書き図における文字と図形の分離
180	北川	早大	日本語プログラミング環境の構築
181	伊知地	ゼロックス	整数論への計算機の応用
182	立山	東大	タプル通信を使ったユーザインターフェイス
183	稲田	電通大	マルチタスク環境におけるファイル圧縮解凍機構の実現
183	益田	電通大	プロセス移送における入出力環境の効率的な実現法
184	松永	慶大	対話的にグラフィカルユーザインタフェースを構築するツールＩＰＧ
185	冨永	東工大	抗クラック剤の開発
186	Webster	農工大	力学モデルによる超並列指向文字認識の実験
186	丸山	農工大	囲碁対局システムの構想
186	田中	農工大	RISC用OS/omicronにおけるシステムソフトウェアの開発・評価環境の構築
187	朴	早大	接続関係を利用した辞書情報の獲得と日本語解析システムへの適用
188	福井	筑波大	1. 社会人向け夜間大学院「筑波大学 経営・政策科学研究科」の紹介 2. 属性付きファイルを基盤とする個人向け情報組織化環境
189	石井	東大	関数型言語でI/Oを記述する – I/O Monadの紹介 –
190	砂原	電通大	大学における計算機科学教育環境 – NEWSがたくさんやってきた –
191	佐藤	慶大	プロセス代数をもちいた並行・分散システムの記述と証明
192	脇田	東工大	並行計算モデルへの一級継続の導入
193	小笠原	農工大	計算機との対話によるユーザの啓発
193	中島	農工大	「紙」メタファ通信システムによる分散手書きＫＪ法
194	藤井	早大	関数型プログラミング言語の並列処理系に関する一考察
195	柏野	東大	音楽の“シーン解析”：問題とその処理モデル
196	多田	電通大	餅は餅屋では餅しかできぬ
197	野呂	南山大	命令実行の計数過程に基づくソフトウェア信頼度成長モデル
198	越塚	東工大	共有対話オブジェクトアーキテクチャ — 分散環境上でGUIアプリケーション間の協調処理を支援するGUIソフトウェアアーキテクチャ —
199	西村	農工大	手続き言語の動向
200	和田	東大	パラメトロン計算機とプログラムハック
201	片岡	早大	世界の文字
202	中山	電通大	多数のUNIXワークステーションを利用してゲーム木(詰将棋)を並列探索するための分散的実行管理機構
203	倉部	ゼロックス	GUIを持つソフトウェアの視覚的プログラミングにむけて
204	下國	東大	あの世とこの世は地続きだ — 部分計算への抽象解釈の応用
205	滝本	慶大	φ-関数移動による効率的な部分冗長計算除去
206	白倉	津田塾	新聞記事における事件特定のための単語群の抽出
207	前野・太田	東工大	メモリ階層むけのプログラミング
208	乾	農工大	副詞「もう」と「まだ」の語用論的意味と自然言語処理への適用について
209	大駒	慶大	ＰＣ－１、ＥＤＳＡＣ、ＭＡＲＫ－ＩＶのソフトウエア的復刻
210	村野	お茶の水大	バージョン更新の可視表示ツール
211	辰巳・筧	早大	早稲田大学でのWWW顛末記
212	森信・原口・小林	東大	emacsのソースを読んで:ソース読み会について
213	金井	電通大	機械設計の設計・製造プロセスにおける設計変更支援システム
214	坂井	筑波大	直観主義命題論理の定理証明器作成の試み
215	木本・大野	東工大	街角公衆端末プロジェクト
216	岩澤	農工大	並列プログラミング環境
217	大木・久野	筑波大	文字認識しないペンコムは使えるか?
218	広瀬	慶大	アーカイブ検索システムDarts
219	田村	早大	WWWの広域検索システム千里眼の実装と現状
220	安東	東大	CU-SeeMeとreflectorの話
221	中村	電通大	ATMでワークステーションをつなげてDSMを作ってみる話
222	太田	東工大	多倍長ｍｏｄｕｌａｒ整数乗算
223	冨澤	農工大	初心者の並列プログラミング行動の観測
224	千葉	慶大	実メモリの量を意識した世代別コピー式ガーベージコレクション
225	村井	富士ゼロックス	離散値ニューラルネットワークを用いた色変換と、その学習方法

226	中田	電総研	Ninf: A Network based Information Library for Global World-Wide Computing Infrastructure
227	宮岡・角田	電通大	携帯型日本文入力方式を目指して (ペンと片手キーボードと...)
228	加藤淳也	早大	大規模ネットワークに適した測定手法について
229	中川晋一	国立がん	センター 医療情報とコンピュータコミュニケーション
230	加藤・斎藤・中川	農工大	手書きコミュニケーション
230	堀場・小國・中川	農工大	アイディアボード
231	Joachim	慶大	Deliberative and Reactive Planning in a Multiple-Agent System
232	前野年紀	東工大	qmail の勧め
233	寺田実	東大	Emacs のための派手目の gdb モード
233	尾上能之	東大	PlayStation プログラミング
234	筧捷彦	早大	ACM Students Programming Contest — 日本チーム参加の記録
235	倉部・伊知地	ゼロックス	設計ノウハウ検索ツールのための検索インタフェース
236	多田	電通大	発展的カーネル — どうして？どうやって？どうかしら？—
237	阿部・佐野・小川	津田塾	Mule 上で動く、構文エラー訂正支援システム
238	並木	農工大	コンパイラの教育のためのプログラミング言語 C—とその教材
239	篠沢	慶大	遺伝アルゴリズムを用いた文字認識後処理
240	あやむら	慶大	SPAM の現状と対策
241	吉良	農工大	初心者入門用言語「若葉」で WAKA れよう BAsic から
242	早野	電通大	ドラッグ＆ドロップでスクリプトの記述が可能なシェル
243	斎藤	農工大	情報工学系学生のための数学教育の試み
244	伊知地・尾河	ゼロックス	ビットマップ・ユーザインタフェースへのプログラムの埋め込みを目指して
245	若林・井上	慶大	CVS によるソフトウェアのバージョン管理
246	前野	東工大	個人で運用する ML の経験
247	鶴岡	東大	概念分類で証拠を拡張した決定リストによる語義曖昧性解消手法
248	山内	電通大	真鵺道 (manued.el) の実装について
249	上園	早稲田	国際化テキスト処理のための文字コードの分析
250	品野	農工大	汎用並列分枝限定法ツール PUBB による組合せ最適化問題の厳密解法
251	三平	慶應	引用文献の同定
252	田中	東大	NC は使い物になったか? — 東京大学の新教育用計算機システム
253	栄	東工大	MPC++ Multi-Thread Template Library の MPI による実装と性能評価
254	長	慶応大	UML を利用したリバースエンジニアリング手法